

独立役員届出書

1. 基本情報

会社名	ヨネックス株式会社		コード	7906
提出日	2026/6/1	異動(予定)日	2026/6/24	
独立役員届出書の提出理由	定時株主総会に付議される取締役選任議案により、独立役員の指定が見込まれるため			
<input checked="" type="checkbox"/> 独立役員の資格を充たす者を全て独立役員に指定している(※1)				

2. 独立役員・社外役員の独立性に関する事項

番号	氏名	社外取締役/ 社外監査役	独立役員	役員の属性(※2・3)											異動内容	本人の同意			
				a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k			l	該当なし	
1	マイケル モリズミ	社外取締役	○														○		有
2	大坪 富貴子	社外取締役	○														○		有
3	ダンカン 隆賢 ウィリアムズ	社外取締役	○														○		有
4	サラ L. カサノバ	社外取締役	○														○	新任	有
5	丸山 晴彦	社外監査役	○														○		有
6	太田 律子	社外監査役	○														○		有

3. 独立役員の属性・選任理由の説明

番号	該当状況についての説明(※4)	選任の理由(※5)
1		マイケル モリズミ氏は、証券アナリストでの実績をもとに、幅広い見識と豊富な経験から、取締役会においては国際感覚を生かした忌憚のない意見、提言を行い、重要事項の審議にあたっていただいております。また、報酬諮問委員会の委員長として、役員報酬制度の改定を推奨するなど、役員報酬の透明性・公正性を確保するため、活発な議論に貢献いただいております。当社と同氏の間には人的関係、資本的關係又は取引関係その他の利害関係がなく、当社が定める「社外役員の独立性判断基準」を満たしております。
2		大坪 富貴子氏は、豊富な経験と財務に係る高度な知識やヘルスサービス、食による健康長寿等の分野における専門的な見識を有しており、取締役会においては、これらの見識及び経験、国際感覚を生かし、ダイバーシティの推進やサステナビリティへの取り組みなどで、積極的に発言・提言を行っていただいております。また、報酬諮問委員会の委員として、役員報酬制度の改革に取り組み、役員報酬の透明性・公正性を確保するため、活発な議論に貢献いただいております。当社と同氏の間には人的関係、資本的關係又は取引関係その他の利害関係がなく、当社が定める「社外役員の独立性判断基準」を満たしております。
3		ダンカン 隆賢 ウィリアムズ氏は、カリフォルニア大学バークレー校、南カリフォルニア大学等で東アジア文化を専門に研究を行ってきた大学教授です。同氏は、東京で生まれ、日本と英国で育った後、渡米しハーバード大学で博士号を取得、米国で長年研究活動に従事するという多様なバックグラウンドを有しております。学術面だけでなく、分野を超えた多彩な活動を通ずるリーダーシップ、起業家精神と戦略思考もあり、当社の今後の長期的なグローバル成長に向けて新たな、かつ幅広い視点からの助言や提言をいただくことを期待しております。当社と同氏の間には人的関係、資本的關係又は取引関係その他の利害関係がなく、当社が定める「社外役員の独立性判断基準」を満たしております。
4		サラ L. カサノバ氏は、マクドナルド社の北米や東南アジア等において長年にわたり消費者ビズネスに携わり、2013年から2024年までの間、日本マクドナルド株式会社 代表取締役社長兼 CEO、ならびに代表取締役会長を歴任し、業績向上かつ 同社の成長戦略の実現に優れた経営手腕を発揮しました。特にグローバル経営・海外事業マネジメント、マーケティング、人材戦略、リスクマネジメント等、経営者及び各国・各地域責任者としての高度な知見と実績を有しております。当社が現在推進するDTC戦略に対し、実践的かつ有益な助言が期待されます。また、複数の上場企業における社外取締役経験を有しており、指名・報酬、内部統制、ガバナンス等に関する知見を活かし、当社の取締役会の実効性向上に寄与していただければと判断しております。当社と同氏の間には人的関係、資本的關係又は取引関係その他の利害関係がなく、当社が定める「社外役員の独立性判断基準」を満たしております。
5		丸山晴彦氏は、税理士の資格を有しており、税務及び会計に関する高い造詣の深さから、中立的・客観的な監査業務を遂行いただけると判断し、社外監査役に選任しております。当社と同氏の間には人的関係、資本的關係又は取引関係その他の利害関係がなく、当社が定める「社外役員の独立性判断基準」を満たしております。
6		太田律子氏は、会社経営に関与したことはありませんが、長年に亘る務務行政を通じて会社経営に関する十分な見識を有しており、中立的・客観的な監査業務を遂行いただけると判断し、社外監査役に選任しております。当社と同氏の間には人的関係、資本的關係又は取引関係その他の利害関係がなく、当社が定める「社外役員の独立性判断基準」を満たしております。

4. 補足説明

--

- ※1 社外役員のうち、独立役員の資格を充たす者の全員について、独立役員として届け出ている場合には、チェックボックスをチェックしてください。
- ※2 役員の属性についてのチェック項目
- 上場会社又はその子会社の業務執行者
 - 上場会社又はその子会社の非業務執行取締役又は会計参与(社外監査役の場合)
 - 上場会社の親会社の業務執行者又は非業務執行取締役
 - 上場会社の親会社の監査役(社外監査役の場合)
 - 上場会社の兄弟会社の業務執行者
 - 上場会社を主要な取引先とする者又はその業務執行者
 - 上場会社の主要な取引先又はその業務執行者
 - 上場会社から役員報酬以外に多額の金銭その他の財産を得ているコンサルタント、会計専門家、法律専門家
 - 上場会社の主要株主(当該主要株主が法人である場合には、当該法人の業務執行者)
 - 上場会社の取引先(f、g及びhのいずれにも該当しないもの)の業務執行者(本人のみ)
 - 社外役員の相互就任の関係にある先の業務執行者(本人のみ)
 - 上場会社が寄付を行っている先の業務執行者(本人のみ)
- 以上のa~lの各項目の表記は、取引所の規則に規定する項目の文言を省略して記載しているものであることにご留意ください。
- ※3 本人が各項目に「現在・最近」において該当している場合は「○」、「過去」に該当している場合は「△」を表示してください。近親者が各項目に「現在・最近」において該当している場合は「●」、「過去」に該当している場合は「▲」を表示してください。
- ※4 a~lのいずれかに該当している場合には、その旨(概要)を記載してください。
- ※5 独立役員の選任理由を記載してください。